

# 小野田地域交流センター 様

令和6年秋のコンクールで最優秀賞を受賞されたことで、令和2年春の花壇コンクール以降で通算3回の最優秀賞受賞となりました。そのため「山陽小野田市花いっぱい運動モデル花壇指定」とすることになりました。小野田地域交流センターに「花壇を作るうえでの心掛けていること」について、以下のとおり話を聞いてきました。

## ■過去の最優秀賞受賞花壇



令和4年度秋の花壇コンクール



令和5年度秋の花壇コンクール



令和6年度秋の花壇コンクール

## 花を育てるようになったきっかけ

小野田地域交流センターや山陽小野田市民館に来館される方たちが、花壇のきれいな花を見て心を和ませたり喜んだりしてもらえるように、主催講座「ガーデニングと家庭菜園教室」と連携をして、花壇づくりをはじめた。

## 年間スケジュール

秋の花壇コンクールに合わせて、5月中旬に春の花壇の引き上げ・土づくり、6月中旬に苗植えをしている。また、春の花壇コンクールに合わせて、10月中旬に秋の花壇の引き上げ・土づくり、11月中旬に苗植えをしている。どちらも「ガーデニングと家庭菜園教室」の受講生の皆さんと一緒にやっている。

## 苦労していること

害虫による被害が出ないように薬をまいたり、台風などの強風で倒れないように支柱を立てたり、続く猛暑で枯れないように土日を含めた毎日朝夕の水やりなど苦労した。今年は7月下旬から9月の間、雨もほとんど降らず暑さも厳しく、苗が枯れないか日々心配をした。

## 工夫していること

中央花壇のほか、合計5つの花壇で花の種類やレイアウトを変えて、バラエティにとんだ花壇にしている。それぞれの花壇に、花の名前や花言葉などを入れた表示をして、花壇を見に来てくれた人が花をより好きになってもらえるように工夫している。

## 管理・手入れ

毎日の水やりを欠かさないように、センター職員で行っている。肥料は1～2か月に1回程度与えたり、雑草が生えないように薬を敷いたり、雨の多い時期は害虫よけの薬をまいたりしている。草は小さいうちに取るようにしている。花摘みや草取りなど、月1回、受講生の方にも協力してもらっている。

## デザイン・配置

中央花壇は、花の種類や色合いを変え、前後で高さを変えながら立体的になるように配置している。周りのプランターも花の色を変えて変化をもたせている。その他3つの花壇は、厚陽からいただいた黄色のマリーゴールドと赤色のサルビアを中心に配置し、他の種類の花も植えてバリエーションをもたせている。

## これから花を育てる方に対して一言

花を育てることは苦労も多いが、きれいな花が咲くと心も癒される。いろいろな花を育てるうちに、花の名前も覚えるようになって、花に愛着をもつことができ、公園などで咲いている花にも興味をもつようになる。

## やりがいを感じる時は

花のお世話をしたらきれいな花が咲いていると、成長した姿を見てやりがいを感じる。また、来館された方達から、「きれいに咲いていますね」と言ってもらえるのが、何よりの励みになる。もちろん、花壇コンクールで賞をいただけることもとても嬉しい。

# 野村 節 様

令和6年秋のコンクールで最優秀賞を受賞されたことで、令和2年春の花壇コンクール以降で通算3回の最優秀賞受賞となりました。そのため「山陽小野田市花いっぱい運動モデル花壇指定」とすることになりました。野村様に「花壇を作るうえでの心掛けていること」について、以下のとおり話を聞いてきました。

## ■過去の最優秀賞受賞花壇



令和4年度秋の花壇コンクール



令和5年度秋の花壇コンクール



令和6年度秋の花壇コンクール

## 花を育てるようになったきっかけ

19年前に主人が亡くなった。仏様にお供える花を自分で育てるようになったことで花づくりを始めた。花壇コンクールへの参加は、7、8年前に当時の審査員よりコンクールに出るよう勧められたことがきっかけで現在も参加している。

## 年間スケジュール

花壇コンクールの審査が終わり少ししたら、来年度用の種を採取する花を残しあとは処分する。土づくりを行いながら種から苗、苗から花を作り続けている。

## 苦労していること

最初は家の周りだけで始めたが、どんどん範囲が広がってきた。広いので水やりに1時間半程度時間がかかっていること。

## 工夫していること

水やりは水が煮えないよう夕方のみに行っている。少々の水では染み込まないのでたっぷり時間をかけて水やりをしている。これからも長く花を育て続けられるため健康管理には気を使っている。

## 管理・手入れ

除草は、水やりの際に生えていれば抜く。草が育つと種が落ち雑草の面積が大きくなるので、小さいうちに府抜くよう心掛けています。

## デザイン・配置

思ったように植えているので、そこまでは考えていない。

## これから花を育てる方に対して一言

ご近所さんやバスの運転手、市内はもちろん市外の方からも綺麗な花ですね。と声を掛けてもらうときは嬉しい。また、多くの方から要望に応え種や苗を配っているため、体力が続く限りは続けたいと思っている。